

# 保育士資格を持つ方と保育所のマッチングの 改善に係る関連施策

# 保育士・保育所支援センター設置運営事業

(保育対策総合支援事業費補助金 令和元年度予算：394億円の内数 → 令和2年度予算：394億円の内数)

## 【主な事業内容】

- 潜在保育士に対する取組
  - ・再就職に関する相談・就職あっせん、求人情報の提供
- 人材バンク機能等の活用
  - ・保育所への離職時に保育士・保育所支援センターに登録し、再就職支援（求人情報の提供や研修情報の提供）を実施
  - ・また、新たに保育士登録を行う者に対しても保育士・保育所支援センターへの登録を促し、登録された保育士に対し、就業状況等の現況の確認や就職支援等を行うことにより、潜在保育士の掘り起こしを行う。

【実施主体】 都道府県・指定都市・中核市

## 【補助基準額】

保育士・保育所支援センター運営費：4,300千円

保育士再就職支援コーディネーター雇上費：4,000千円

※マッチングの実績が年50件以上ある場合、4,000千円（1名分）を加算

※待機児童対策協議会参加自治体の場合、コーディネーターの更なる追加配置を支援

復職前研修実施経費：465千円

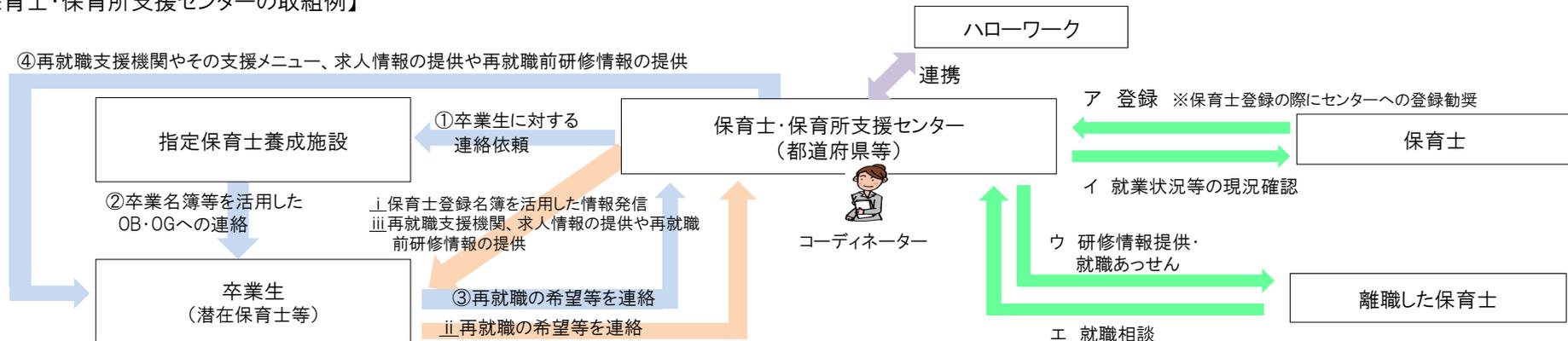
離職した保育士等に対する再就職支援：4,030千円

保育士登録簿を活用した就職促進：3,517千円

マッチングシステム導入費：7,000千円

【補助割合】 国：1/2 都道府県・指定都市・中核市：1/2

## 【保育士・保育所支援センターの取組例】



# 潜在保育士等マッチング強化事業

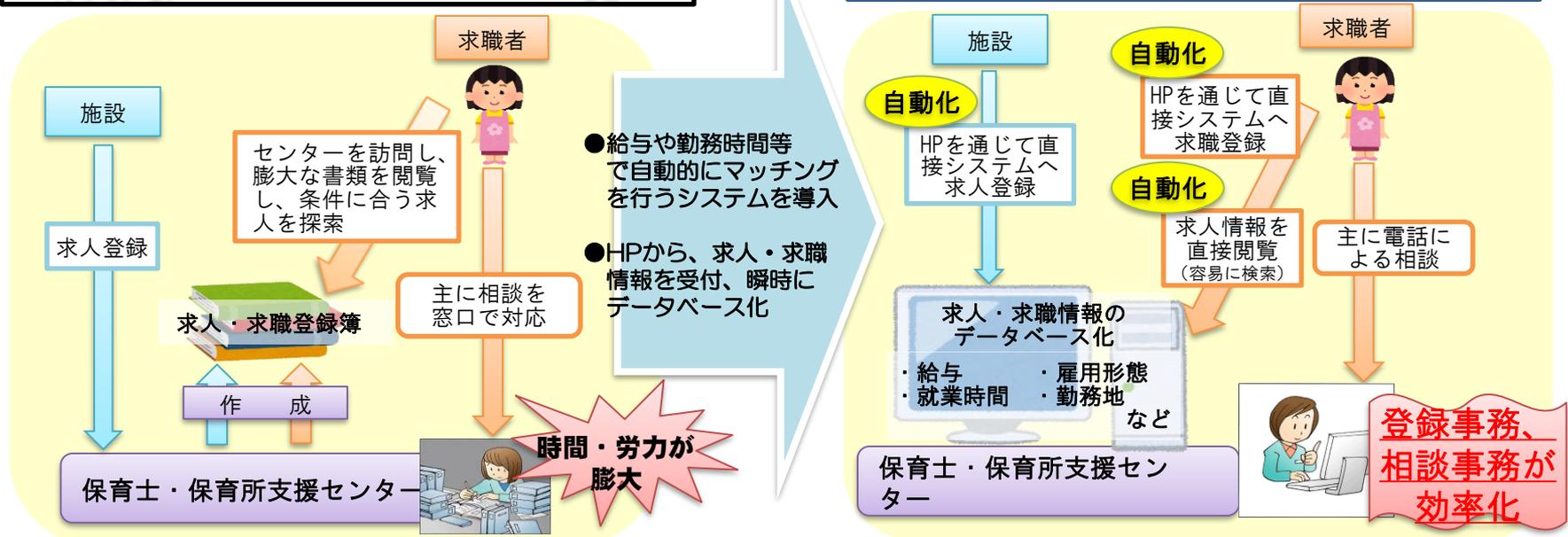
- 保育士・保育所支援センターにマッチングシステムを導入し、業務の効率化を図るとともに、潜在保育士等保育人材のニーズに合わせた、よりきめ細かなマッチングを実施。

## 現在の課題

- 窓口やFAX等で求人・求職情報を受け付けるため、紙の資料が多く、データ化が困難
- 紙媒体で情報を保管しているため、検索が困難。
- 限られた人員の中で、窓口対応や研修の企画を行っている。 など

## 導入による効果

- マッチング時間の短縮
- 情報管理業務の軽減
- 窓口対応の効率化



## 効率化で、よりきめ細かなマッチングや業務の充実

- ①よりきめ細かなマッチングの実施  
⇒条件面でのすれ違いがわずかな場合には、仲立ちとなって条件を調整
- ②求人、求職者を増やす取組の実施  
⇒ハローワークのみに掲載されている情報なども収集
- ③潜在保育士の現状に合わせた研修等の企画



等

# 全国の保育士・保育所支援センター等 (平成31年4月現在)

NO	都道府県名	実施団体		NO	都道府県名	実施団体	
1	北海道	北海道	保健福祉部福祉局地域福祉課	33	堺市	堺市	子育て支援部幼保運営課
2	札幌市	一般社団法人 札幌市私立保育園連盟	札幌市保育士・保育所支援センター	34	高槻市	高槻市	子ども未来部保育幼稚園総務課
3	青森県	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会	青森県保育士・保育所支援センター	35	豊中市	豊中市	こども未来部こども事業課
4	岩手県	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	福祉人材研修部	36	枚方市	枚方市	子ども青少年部 子育て事業課
5	宮城県	一般社団法人 宮城県保育協議会	宮城県保育士・保育所支援センター	37	兵庫県	公益社団法人 兵庫県保育協会	兵庫県保育士・保育所支援センター
6	秋田市	秋田市	子ども未来部子ども育成課	38	神戸市	公益社団法人 神戸市私立保育園連盟	神戸市保育士・保育所支援センター
7	山形県	社会福祉法人 山形県社会福祉協議会	山形県福祉人材センター (コーディネーター窓口)	39	姫路市	姫路市	姫路市保育士・保育所支援センター
8	福島県	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会	福島県保育士・保育所支援センター (県協 人材研修課内)	40	明石市	明石市	明石市保育士総合サポートセンター
9	郡山市	郡山市	郡山市保育士・保育所支援センター (こども部こども育成課内)	41	奈良県	社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会	奈良県保育士人材バンク
10	茨城県	マンパワーグループ株式会社	いばらき保育人材バンク	42	和歌山県	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会	和歌山県福祉人材センター
11	栃木県 (宇都宮市)	社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会	とちぎ保育士・保育所支援センター (福祉人材・研修センター)	43	鳥取県	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会	鳥取県保育士・保育所支援センター
12	前橋市	前橋市	前橋市保育士・保育所支援センター (福祉部 子育て施設課内)	44	島根県	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	島根県福祉人材センター
13	埼玉県	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会	埼玉県保育士・保育所支援センター	45	岡山県	岡山県	岡山県保育士・保育所支援センター
14	千葉県	社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会	ちば保育士・保育所支援センター	46	岡山市	岡山市	岡山市保育士・保育所支援センター
15	東京都	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	東京都保育人材・保育所支援センター	47	倉敷市	倉敷市	倉敷市保育士・保育所支援センター
16	神奈川県 (横浜、川崎市、 横須賀市、相模原市)	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会	かながわ保育士・保育所支援センター (かながわ福祉人材センター)	48	広島県	広島県	広島県保育士人材バンク (安心保育推進課内)
17	相模原市	パーソルテンプスタッフ 株式会社	相模原市総合就職支援センター	49	山口県	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会	山口県福祉人材センター
18	新潟県	新潟県保育連盟	新潟県保育サポートセンター	50	徳島県	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会	徳島県福祉人材センター アイネット
19	富山県	社会福祉法人 富山県社会福祉協議会	施設団体支援課	51	香川県	社会福祉法人 香川県社会福祉協議会	福祉人材センター (香川県保育士人材バンク)
20	石川県	社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター	52	愛媛県	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会	福祉人材部人材研修課
21	長野県	社会福祉法人 長野県社会福祉協議会	長野県保育士人材バンク	53	高知県	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	高知県福祉人材センター
22	岐阜県	岐阜県	岐阜県保育士・保育所支援センター	54	福岡県	公益社団法人 福岡県保育協会	福岡県保育士就職支援センター
23	静岡県 (静岡市)	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	社会福祉人材センター	55	北九州市	北九州市	子ども家庭局子ども家庭部保育課
24	愛知県	社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会	愛知県保育士・保育所支援センター	56	福岡市	福岡市	福岡市保育士・保育所支援センター
25	豊橋市	豊橋市	豊橋市保育士・保育所支援窓口	57	久留米市	久留米市	保育士・保育所支援センター
26	岡崎市	岡崎市	岡崎市保育士・保育所支援センター	58	佐賀県	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会	佐賀県福祉人材・研修センター
27	三重県	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会	三重県保育士・保育所支援センター	59	長崎県	一般社団法人 長崎県保育協会	長崎県保育士・保育所支援センター
28	滋賀県 (大津市)	一般社団法人 滋賀県保育協議会	滋賀県保育士・保育所支援センター	60	熊本県 (熊本市)	社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会	熊本県福祉人材・研修センター
29	京都府	社会福祉法人 京都府社会福祉協議会	京都府保育人材マッチング支援センター	61	大分県	大分県保育連合会	大分県保育士・保育所支援センター
30	京都市	公益財団法人 京都市保育園連盟	京都市保育人材サポートセンター	62	宮崎県	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター	宮崎県保育士支援センター
31	大阪府	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	大阪府保育士・保育所支援センター	63	鹿児島市	一般社団法人 鹿児島市保育園協会	鹿児島市保育士・保育所支援センター
32	大阪市	一般社団法人 大阪市私立保育連盟	大阪市保育士・保育所等支援センター	64	沖縄県	NPO法人沖縄県学童・保育支援センター 株式会社琉球新報開発	沖縄県保育士・保育所総合支援センター

※保育士・保育所支援センターを開設せず、保育士再就職支援コーディネーターのみを配置している自治体を含む。

※45都道府県64箇所が実施。うち28自治体で社会福祉協議会が実施。

※栃木県、神奈川県、静岡県、滋賀県、熊本県は管内の指定都市、中核市と合同で設置しているため、合わせて1件としている。

# 保育士・保育所支援センター等 事業実績

	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	力所数	求職 件数	就職 件数	力所数	求職 件数	就職 件数	力所数	求職 件数	就職 件数
総数	52 (100%)	16,256 (100%)	3,561 (100%)	60 (100%)	15,129 (100%)	3,803 (100%)	64 (100%)	14,321 (100%)	4,749 (100%)
(実施団体の内訳)									
自治体 本庁	11 (21%)	2,202 (14%)	982 (28%)	17 (28%)	1,892 (13%)	1,058 (28%)	20 (31%)	2,228 (16%)	1,349 (28%)
保育関係団体	11 (21%)	2,392 (15%)	686 (19%)	11 (18%)	2,135 (14%)	900 (24%)	12 (19%)	2,018 (14%)	994 (21%)
社会福祉協議会	27 (52%)	10,710 (66%)	1,692 (48%)	28 (47%)	10,262 (68%)	1,750 (46%)	28 (44%)	9,469 (66%)	2,118 (45%)
営利企業	2 (4%)	323 (2%)	55 (2%)	2 (3%)	158 (1%)	48 (1%)	2 (3%)	237 (2%)	76 (2%)
NPO法人	2 (4%)	629 (4%)	146 (4%)	2 (3%)	682 (5%)	47 (1%)	2 (3%)	369 (3%)	212 (5%)

※1. 保育士・保育所支援センターを開設せず、保育士再就職支援コーディネーターのみを配置している自治体を含む。

※2. 求職件数: 保育士・保育所支援センターが受け付けた求職の件数

※3. 就職件数: 保育士・保育所支援センターの紹介により就職した件数

# 潜在保育士再就職支援事業

(保育対策総合支援事業費補助金 令和元年度予算：394億円の内数 → 令和2年度予算：394億円の内数)

## 【事業内容】

- 離職後のブランクが長くなった潜在保育士が抱く職場復帰への不安を軽減するため、保育士・保育所支援センター等の紹介（マッチング）により、保育所等が潜在保育士を非常勤として試行的に雇用する際に行う研修等に要する費用を補助する。

## 【実施主体】

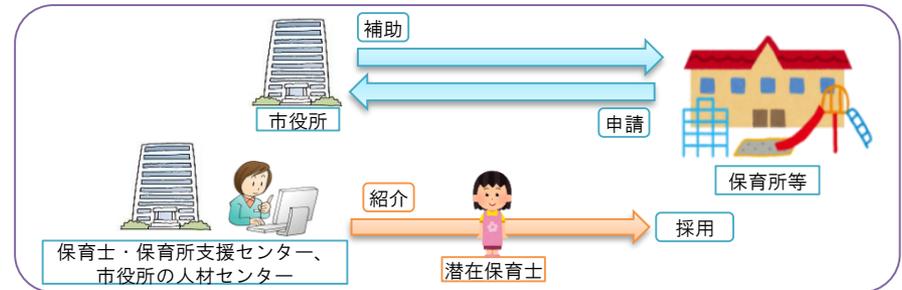
市区町村

## 【補助基準額】

100千円

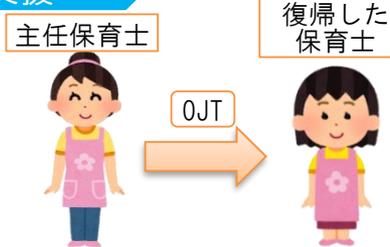
## 【補助割合】

国：1／2、市区町村：1／2



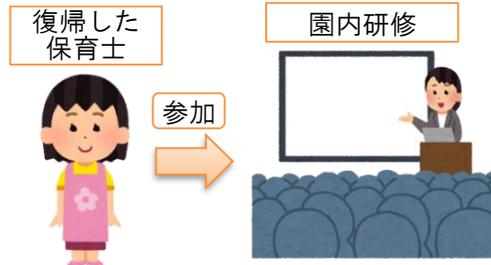
## 1. 保育所等におけるOJT等を支援

採用された保育所等で、主任保育士などがOJTを行う場合に、地域子育て支援の代替職員にかかる費用等を補助



## 2. 園内研修に外部講師を呼ぶための費用を支援

潜在保育士向けの研修として、外部講師を呼んで園内研修を実施する際に要する費用を補助



## 【潜在保育士へのメリット】

- 職場復帰への不安を軽減
- 研修等を通じて、最新の保育に係る知識や技術を習得

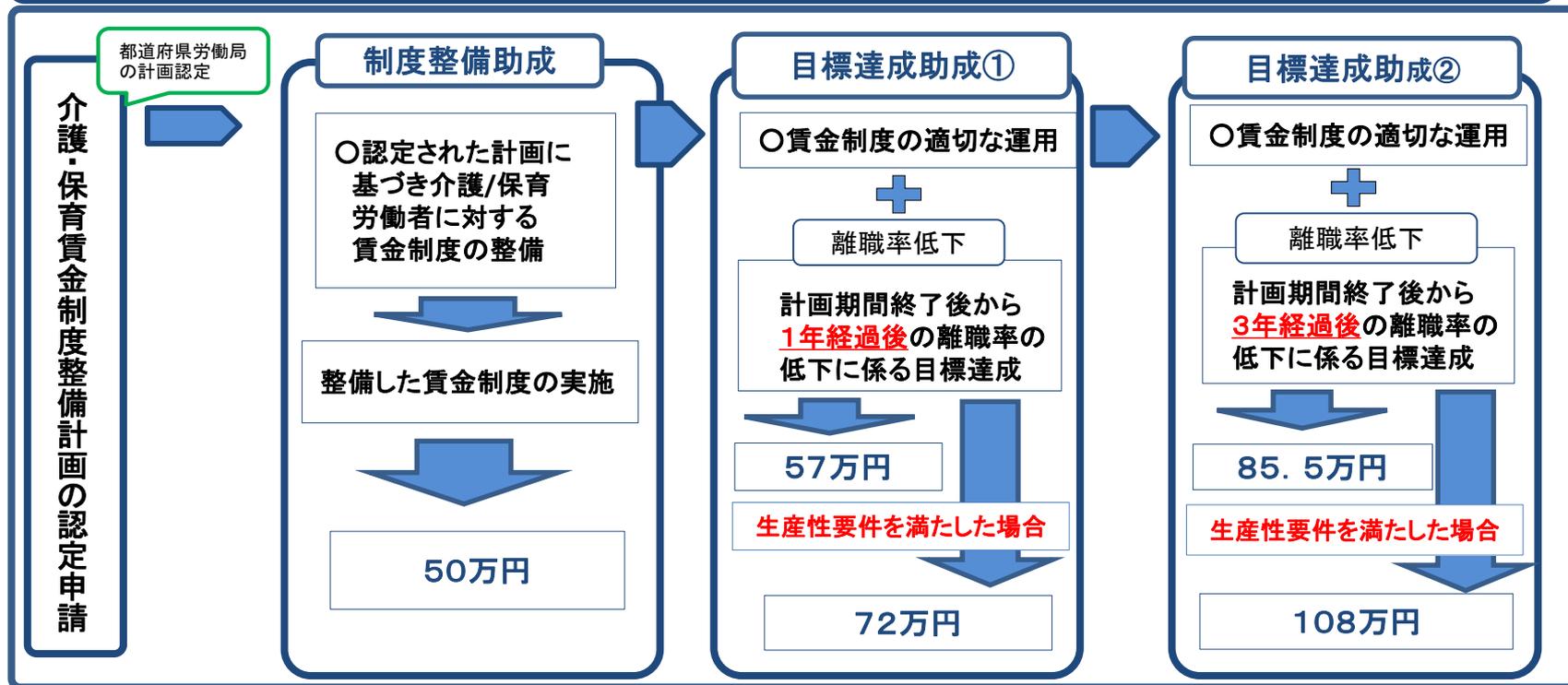
## 【保育所等へのメリット】

- 潜在保育士を雇う際に、よりきめ細かな支援が可能
- 潜在保育士の職場定着を促進

# 人材確保等支援助成金（介護・保育労働者雇用管理制度助成コース）

## 概要

介護/保育事業主が、労働協約または就業規則を変更することにより、介護/保育労働者の職場への定着の促進に資する賃金制度の整備（職務、職責、職能、資格、勤続年数等に応じて階層的に定めるものの整備）などを通じて、労働者の離職率の低下に取り組んだ場合に助成する。



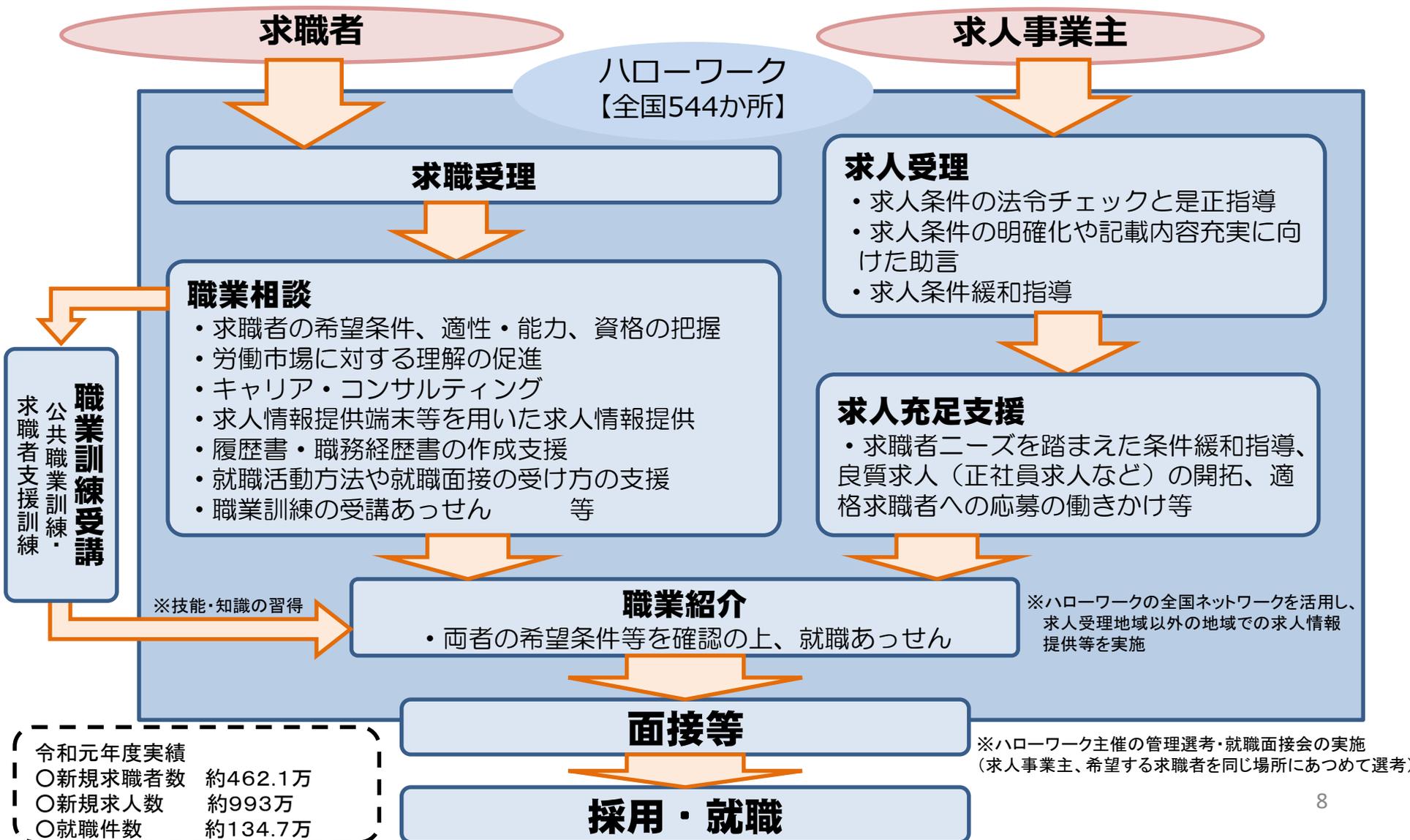
## <実績>

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
支給件数	11件	770件	579件

(※) 平成28年度補正予算により、職場定着支援助成金（保育労働者雇用管理制度助成コース）として創設。平成30年度から（介護労働者雇用管理制度助成コース）と統合し、人材確保等支援助成金（介護・保育労働者雇用管理制度助成コース）として実施。

# ハローワークにおける職業相談・職業紹介の概要

ハローワークにおいて、求職者の適性・能力や資格、希望、求人事業主の人材ニーズを踏まえ、きめ細かな職業相談や全国ネットワークを活用した職業紹介を実施し、就職・求人充足を実現。



# 1. ハローワーク業務・システムの見直しのポイント

## 目的

全員参加型社会の実現に向けて、ハローワークが引き続き労働市場のセーフティネットとしての役割を果たすため、「『**懇切・公正・迅速**』なサービス」と「**システム経費の最大限の削減※**」を実現する。 ※政府目標：2013年度比3割減

➡ 「システム構成」・「業務フロー」まで踏み込んだ「抜本的」な見直しを行う。

## 業務・システムの見直し

### ○ハローワークインターネットサービスの充実

- ・ 求人者マイページ、求職者マイページを新設し、利用者がハローワークに来所せずにオンラインで利用できるサービスを充実

### ○ハローワークでの職業紹介サービスに係る機能の充実

- ・ 求人・求職情報提供、検索機能の強化等による求人・求職者のニーズに応じたきめ細かな支援の実現

### ○各種事務処理の見直し

- ・ 「個人」及び「事業所」の単位でシステム内の情報を紐付けた共通台帳の創設や統計分析機能の充実、画面遷移の改善等、使い勝手の向上と事務処理の効率化

## 効果

### ◆ 利用者の利便性の向上、ハローワーク業務の効率化

- ・ 来所を要しないサービスの拡大
- ・ 記入負担、待ち時間の削減による利用者・職員双方の負担軽減
- ・ 効率的な求職・求人活動の実現

### ◆ 真に支援が必要な方へのサービスの充実

- ・ 就職困難者等への職業相談・就職支援の充実
- ・ 事業所訪問等を通じた実態把握、求人充足支援等の強化
- ・ 利用者の状況を的確に把握した効果的な支援の実現

### ◆ 雇用保険料財源の節約

- ・ 求人情報提供端末、プリンタの削減
- ・ OCR機器の削減
- ・ トナー、印刷用紙削減

## 2. ハローワーク業務・システムの見直しの主な内容・スケジュール

2019(R1)年度

2020(R2)年1月

※ハローワークシステム全体の更改についても、2020. 1より運用開始

2020(R2)~2021(R3)年度（調整中）

現行システム

更改後の職業紹介システムの運用開始

追加機能の運用開始

求職者サービス

相談窓口におけるサービスの充実と利便性の向上

### 自宅のPC・スマートフォンを利用した求職の申込み

- HWIS（※）を利用し、来所前から求職申込みの事前登録手続きが可能

### マイページ開設による求職活動の支援

- 求人検索条件の保存、応募求人の履歴管理など求職活動を支援

### 求人情報の提供機能の充実

- 安定所内と同じ求人情報を自宅のPC・スマートフォンからも閲覧可能
- 事業所のPR情報（画像情報や事業所からのメッセージ等）の充実

### 窓口における職業相談サービスの充実

- 求職活動が上手くいかない求職者を窓口へ誘導、課題解決支援サービス（予約担当者制）の充実

### 会社のPCを利用した求人の申込み

- HWIS（求人者マイページ）から初めて求人を申し込む場合など一定の場合を除き、来所せずとも求人の申込みが可能

### マイページ開設による募集活動の支援、求職情報の提供機能の充実

- 過去の募集求人を利用した求人申込み、安定所への採否連絡などが可能
- HWIS上で公開を希望する全国の求職者情報を検索可能

### 求人情報等の充実（求人者の自社アピール機会の強化等）

- 求人票の記載内容の充実（「仕事の内容」の拡充、「固定残業代」の追加）
- 事業所のPR情報（画像情報や事業所からのメッセージ等）の充実

### 求人充足サービスの充実

- 事業所訪問をこれまで以上に積極的に実施
- 魅力ある求人票の作成、応募につながる求人条件の設定に向けた助言

オンラインでの求職申込みの手続きが完了可能

### HWISでの職業紹介・応募サービスの提供

- 求人・求職者が希望する場合にHWISからの直接応募（オンライン自主応募）が可能
- ハローワークの選定求人へのHWISからの応募（オンラインハローワーク紹介）が可能

### HWISからのリクエスト

- 求職公開している求職者に、求人者から直接リクエストが可能

求人者サービス

求人充足サービスの充実と利便性の向上

### 3. ハローワークの業務・システムの見直しの主な内容①

～相談窓口におけるサービスの充実と利用者の利便性（オンライン利用者サービス）の向上～

#### 求職者へのサービス

〔旧（～2019年12月）〕

〔新（2020年1月～）〕

来所の上、求職申込書（OCR帳票）に記入して求職申込み

ハローワーク（所内端末）に加え、自宅からHWISを通じて求職申込みも可能※（引き続き、手書き申し込みも可能）

- ・希望者はHWIS上で求人者に対して求職情報の公開が可能。
- ※オンライン上で求職申込手続を完了させる機能は2020（R2）～2021（R3）年度のリリースに向け調整中。

所内の求人情報提供端末、ハローワークインターネットサービス（HWIS（※））による求人情報の提供

求職者マイページ開設による求職活動の支援

- ・検索条件の保存、お気に入り求人などの保存などが可能。
- ・応募した求人の履歴など自身の求職活動情報の管理が可能。

※HWISで提供される求人情報は、情報量（項目・範囲）が一部限定。より詳細な求人情報を閲覧するためには来所が必要。

求人情報の提供機能の充実（所内端末とHWISの一本化）

- ・ハローワークでも自宅でも閲覧できる求人情報の情報量（項目・範囲）は同じ。スマートフォンにも対応。
- ・より細かい希望に応じた求人検索（UIターン求人や駅近求人、在宅勤務求人等）が可能。
- ・「仕事の内容」欄の拡充や「固定残業代」など求人条件欄の追加により、求人選択、応募検討に必要な情報が一層把握可能。
- ・事業所の画像情報、PR情報（事業所からのメッセージ（求める人物像や社員からのメッセージ））、研修制度情報等の追加により、求人選択、応募検討に必要な事業所情報が一層把握可能。

窓口における職業相談サービス

〔自己理解・労働市場理解の支援、希望条件の設定の助言、応募活動（履歴書・職務経歴書の書き方）の支援、求人検索の支援など〕

窓口における職業相談サービスの充実

- ・オンライン上での求職活動が上手くいかない求職者を窓口へ誘導、窓口利用者に対する課題解決支援サービス（予約担当者制等）の充実。

職業紹介サービス

〔求人・求職条件の適合性確認、希望条件緩和の助言、求人の提案など〕

HWISでの職業紹介・応募サービスの提供

- ・窓口での職業紹介に加え、求人・求職者が希望する場合にオンライン自主応募（HWISからの直接応募）や、オンラインハローワーク紹介（ハローワーク選定求人への応募）が可能となる予定（2020（R2）～2021（R3）年度のリリースに向け調整中）。

HWISでの訓練情報の提供（公的職業訓練を一元的に検索）  
HWISでのイベント情報の提供

ハローワークサービスへのアクセスの向上

（在職者をはじめ利用者の利便性の向上、利用者への情報提供の充実）

ハローワーク窓口における支援サービスの充実

（自主的な求職活動を行う者へのサポートや、支援が必要な求職者に対する一層手厚い支援が可能に）

### 3. ハローワークの業務・システムの見直しの主な内容②

～求人充足サービスの充実と利用者の利便性（オンライン利用者サービス）の向上～

#### 求人者へのサービス

〔旧（～2019年12月）〕

##### 求人申込書（OCR帳票）に記入し、窓口で求人申込み

- ・ 求人申込み内容の法令違反の確認
- ・ 求人内容の助言等

##### 求人充足サービス

- ・ 労働市場情報の提供
- ・ 求人内容や求人条件緩和の助言
- ・ 求職者への働きかけ（庁舎掲示や求人情報の送付）
- ・ 企業見学会やミニ面接会の開催等

##### 求職情報の提供

- ・ 公開を希望する求職者の情報を所内窓口等で提供（原則ハローワークの管轄単位）
- ・ 求人者が採用・紹介を希望する求職者に対してハローワークからリクエスト

〔新（2020年1月～）〕

##### ハローワーク（所内端末）又は会社においてHWISを活用した求人の申込みが可能（引き続き、手書き申し込みも可能）

- ・ 求人者マイページから初めて求人を申し込む場合など一定の場合を除き、来所せずとも求人の申込みが可能。

##### 求人者マイページ開設による募集・採用活動の支援

- ・ マイページから過去の募集求人を利用し簡便に求人申込みが可能。
- ・ HWISを通じて求職者への面接日等の連絡が可能。
- ・ マイページからハローワークに採否の連絡が可能。

##### 求人情報等の充実（求人者の自社アピール機会の強化等）

- ・ 「仕事の内容」欄の拡充や「固定残業代」など求人条件欄の追加による求人情報が充実。
- ・ 事業所情報欄の充実（画像情報、PR情報（事業所からのメッセージ（求める人物像や社員からのメッセージ）、研修制度情報等）により、求職者に対する自社アピールが一層可能。

##### 求人充足サービスの充実

- ・ 事業所訪問をこれまで以上に積極的に実施。
- ・ 魅力ある求人票の作成、応募につながる求人条件の設定に向けた助言など、求人充足サービスを強化。
- ・ 各サブシステム（雇用保険や雇用管理、助成金など）のクロス集計等によりマッチングに資する詳細データの提供が可能。

##### 求職情報の提供機能の充実

- ・ 求人者マイページを開設し、有効中の求人がある場合、HWIS上で公開を希望する全国の求職者情報を検索可能。
- ・ 求職者へのマイページを利用したリクエストが可能となる予定（2020（R2）～2021（R3）年度のリリースに向け調整中）。

#### ハローワークサービスへのアクセスの向上

（求人者（求人）を申し込む求職者の利便性の向上、採否連絡など採用事務の効率化）

#### ハローワーク窓口における求人充足支援サービスの充実

（求人・事業所情報の充実や、事業所訪問を通じた人材確保支援の強化が可能に）

# ハローワークにおける人材不足分野のマッチング支援

医療・福祉（医療、介護、保育）、建設、警備、運輸などの雇用吸収力の高い分野へのマッチング支援を強化するため、人材確保ニーズが高い地域のハローワークに人材確保支援の総合専門窓口となる「人材確保対策コーナー」を設置し、当該分野のしごとの魅力を発信し求職者の拡大を図るとともに、求人者には求人充足のための支援を強化し、両者を結び付けるマッチング機会を拡充することにより、ミスマッチの改善を図る。

## 「人材確保対策コーナー」の概要

### 設置箇所

全国103箇所（令和2年度新規設置箇所含む）

### 支援内容

- **求人者に対する支援**
  - ・ 求職者ニーズの把握と、それに基づいた求人者への求人充足に向けた助言・指導
  - ・ 未充足求人への個別フォローアップの実施
- **求職者に対する支援**
  - ・ 担当者制による、きめ細かな職業相談・職業紹介
  - ・ 資格・経験を有する求職者に対する、求人情報や最新の業界動向等の情報提供
- **関係機関、業界団体等との連携による支援**
  - ・ 都道府県労働局ごとに関係機関、業界団体等をメンバーとした協議会を設置し、人材確保のための支援策を検討
  - ・ 関係機関、業界団体等との連携によるセミナー、事業所見学会、就職面接会等の開催
  - ・ ナースセンター、福祉人材センター、保育士・保育所支援センター等との連携による巡回相談やイベントの実施



# ハローワークにおける保育士マッチング強化プロジェクト

## ハローワークにおける重点取組

### ハローワークにおいて、求人・求職者の双方に対し保育士確保のために重点的な取組を実施

#### 1 未充足求人に対するフォローアップの徹底（対求人事業所）

求人受理後一定期間が経過するも未充足の保育士求人について、ハローワークが求人事業所である保育園を訪問し、求職者のニーズを踏まえた求人条件等への見直しに向けた相談・援助を実施。

#### 2 保育士としての就業意欲を喚起する求人情報等の提供（対求職者）

- 保育士求人への応募検討の契機となるよう、保育士としての就業意欲を喚起するため、研修等の開催スケジュール・内容や保育士求人に関する最新動向についての情報、地域の保育事情等を踏まえた保育士向けパンフレット等を求職者へ積極的に提供。
- 保育士の実情や魅力等を発信する機会として、保育園見学会や説明会の定期的な開催。

#### 3 保育園のニーズを踏まえた求人充足支援

- 小規模な面接会から複数の保育園による合同面接会といった大規模なものまで、求人充足に向けた効果的な方法を保育園個々のニーズを踏まえ検討し、実施。
- 求人条件等からみて、地域の保育士資格を所持している求職者では求人が充足しない場合、他地域の労働局・ハローワークと連携し、同一労働市場圏広域マッチングを展開。

## ハローワークと都道府県・市区町村の連携強化

### 職業紹介を行うハローワークと保育園の整備を実施する都道府県・市区町村の連携強化

#### 1 連携により保育士確保が困難な地域を重点的実施地域として取組

都道府県・市区町村が保有する保育園整備予定地域や定員増加地域の情報（ハコの情報）に基づく、特に保育士の確保が必要な地域において、ハローワークが保育園整備等と連動しつつ、保育士のマッチングを重点的に実施。

#### 2 都道府県・市区町村が実施している研修等の情報をハローワークに提供し、求職者に対する情報発信を強化

都道府県・市区町村が、保育士資格を持っている者を対象として自らが主催している研修等に関する情報をハローワークに提供する体制を整え、ハローワークにおいて研修等の情報を必要としている保育士資格を持つ求職者に対する確に情報を提供し、研修等への参加を勧奨。

#### 3 保育士としての勤務に結びつくセミナーの開催

- 労働局・ハローワークや都道府県・市区町村が実施する就職支援セミナー等再就職のための各種イベントの開催に当たって相互に連携して、地域における保育園整備等に関する情報や最新の保育士の実情、保育士求人に関する最新動向等を同時に説明する機会を積極的に設定。
- ハローワークにおいて、事業主（保育園）向けセミナーを開催するなどにより、保育士が応募しやすい求人条件などの求人・求職の最新動向やマッチングの好事例について情報提供する。また、セミナーは、都道府県（保育士・保育園支援センター等）が実施する保育園の管理者に対する雇用管理の研修と連携して開催することで、人材確保と定着を支援する。

#### 4 ハローワークと保育士・保育園支援センター等における求職者の共同支援

ハローワークの保育士資格を持っている求職者のうち、「保育」に対する責任の重さや保護者との関係など、保育士ならではの悩みによって保育士としての就業を希望しない又は保育士としての就業経験がない者等をハローワークと保育士に対する専門性（保育の仕方や方針等）を活かした職業相談等を行う保育士・保育園支援センターにおいて共同で支援することで、求職者が抱える課題を解決。